

分野
計画

緑の基本計画

緑と触れ合う機会の充実

- 人材・団体の育成 ● 緑化活動の支援
- 情報の発信・共有



緑化の推進

- 公園・緑地の確保
- 河川・水路のネットワーク化
- 道路・公共施設緑化
- 工場や商業地の緑化促進
- 住宅地の緑化促進



緑の機能向上・維持保全

- 既存都市公園の再生
- 安心・安全な公園づくり
- 防災機能の充実 ● 河川・水路の活用
- 生物多様性の向上 ● 緑のまちなみづくり
- 特徴的な緑の保全



基本
方向

誰もが安全に安心して利用できるよう公園を維持・保全するとともに、魅力向上に向けて取り組みます。また、憩いや活動の場となる河川・水路の利活用により、市民が緑にふれあう機会を提供します。

都市公園の維持管理
市内の公園数は、令和元年度末で都市公園にちびっ子広場を含めると139箇所あります。これらの公園を安全に安心して利用してもらうためには、計画的に施設の修繕や更新を進めていく必要があります。また、様々な市民ニーズを踏まえ、都市公園の魅力向上についても検討を進めていく必要があります。

水辺と親しめる空間の利活用
市内には淀川や安威川、大正川などの河川や水路が多く流れており、河川遊歩道や安威川ふれあいづつみ、神崎川緑地など水辺環境が豊かであることが本市の特徴です。大正川の河川遊歩道を活用したイベントなど、市内の水辺環境を活かした空間の利活用を進めていく必要があります。

現状と課題

市内緑化の担い手づくり

本市では、市内花壇を緑化活動団体や緑化推進員などと、市民と共に管理してありますが、担い手は減少傾向にあります。活動団体の運営支援を充実するとともに、家庭等で植物を育てるなど、住宅地の緑化促進についても進めていく必要があります。



指標 (KPI)

重要業績評価指標	基準値	目標値(令和7年度)
花いっぱい活動団体数	36団体	40団体
「公園や緑地・緑道を利用する」と回答した市民の割合	46.4% (令和2年度)	52.0%
「摂津市内で花苗をよく目にする」と回答した市民の割合	62.4% (令和2年度)	68.0%
「家庭で植物を育てている」と回答した市民の割合	55.8% (令和2年度)	61.0%

環境
5-3

公園・水みどり

